

平成29年度事業計画書

(平成29年9月1日から平成30年8月31日まで)

特定非営利活動法人フードバンク関西

特定非営利活動法人フードバンク関西は、本年度、活動15年目に入ります。平成15年4月の活動開始以来、「食べ物は命の糧、大切にしたい」の思いに、皆様からの賛同を得て、フードバンク事業を継続して参りました。

本年度は事業内容の一層の充実を図る節目の1年となるよう、ボランティア一同、心を合わせて努力したいと考えます。その第一歩として、今年度中に必ず事務所兼倉庫の移転を実行し、新たな環境の中で、将来へ向かっての事業改革への取り組みを開始し、フードバンク関西の長期的な展望を作り出す最初の年とします。

新年度、特に力を入れたい事業について、下記に説明します。

(1) 食品取扱量の拡大と要支援生活者への無償分配

①取り扱い食品量の確保、

フードバンク関西は、本年度も食品関連企業や個人から品質に問題のない食品の寄贈を受け、要支援生活者の自立を支援する非営利福祉団体等に、これらが無償で分配するフードバンク事業を継続し、さらに発展させます。

昨年度の食品取扱量を越えるよう、努力します。

特に、食のセーフティネット事業、子ども元気ネットワーク事業、子ども食堂支援事業等で、食事の主食、副食食材の需要が大きくなり、その調達に特段の努力が必要になっています。これら食材の確保に特に努力すべく、的を絞った食品関連企業訪問を継続します。

②フードドライブ

本年度も、家庭からの食品ロスを減らし、消費者の意識改革を促すフードドライブへの取り組みを、協働できる団体に積極的に働きかけます。

新たな動きとして、昨年度神戸市環境局の主導によるフードドライブの施行実験が実施され、今後も神戸市は継続の方針を立てています。新たに今年11月から西宮市環境局も、市が主催するフードドライブを企画しています。市民への強力な広報手段を持つ行政がフードドライブに取り組めば、市民の意識も変革して、食べられるのに廃棄される食品が減り、食品ロスが少ない地域社会に変わっていきます。当法人は、フードドライブで行政が集めた食品を、要支援生活者に分配する役割で協力します。

(2) 食のセーフティネット

食のセーフティネットは、困窮状態に陥った市民に対し、行政等の第3者機関からの支援要請を受け、当法人が緊急支援食糧を準備し無償で提供する仕組みです。

昨年度、支援件数が大幅に増加した事から、今後さらにこの傾向が続くことを想定し、この事業に適切な食材の確保に努力する必要があります。

本年度からは、事業協定が締結されていない市や区からの支援要請を受けた際は、原則として、先に事業協定の締結の手続きをお願いする事になります。

また、この事業が当法人の一方的なサービスの提供ではなく、行政との互惠関係が成り立つ事業となるよう、働きかけを継続します。

(3) 子ども元気ネットワーク

27年度から取り組み始めた、複数のNPOとの連携事業である「子ども元気ネットワーク」事業で、当法人は月1回の食支援を担当しています。現在は毎月40世帯を支援していますが、事務所兼倉庫の移転が実現し、当法人の事業拡大が可能になった時には、支援世帯数を増やしていきたいプロジェクトと考えます。

(4) フードバンクと子ども食堂の連携

子ども食堂の数は、昨年度1年間で目覚ましく増加しましたが、子どもの孤食、欠食を減らし、安心できる居場所としての役割を果たすために、さらに多くの子ども食堂が活動を開始する必要があります。

平成28年度に続いて、本年度も子ども食堂との連携プロジェクトを進めます。

まず、新たに活動を開始した子ども食堂への聞き取り調査を行い、昨年度に立ち上げた兵庫子ども食堂ネットワークへの加入を勧めます。必要であれば食材の支援を行い、さらにネットワークの事務局として定期的な会議の開催準備と雑務を引き受け、情報共有のためのグループメールの管理を続け、兵庫県南地域で活動する子ども食堂間で連帯感を育み、長期的に順調な子ども食堂運営を継続できるよう支援します。

(5) 運営基盤強化のための取り組み

フードバンク関西が抱える最大の課題は、日々拡大する活動に必要な運営資金を、継続的、安定的に確保するための方法、仕組みの構築です。

本年度は、事務所兼倉庫の移転を予定しており、その移転と設備投資に多大な資金が必要です。さらにその後の経常経費の増加への準備もする必要があります。

活動内容を多くの市民に広報するために、「幸せの黄色いレシートキャンペーン」で協力関係にある量販店にこちらから働きかけて、チラシを店頭で配る機会を作る事や、外部団体主催のイベントに積極的に参加して広報活動を行い、賛助会員を増やす努力を続けます。

さらに、ホームページやニュースレターを通じて、「フードバンク関西は、今どのような活動をしているのか、すぐ分かる」と言ってもらえるような、皆様への情報公開と、ご支援をしていただきやすいNPOであり続けていきます。

(6) 事務所兼倉庫の移転の実行と法人の事業形態の再検討

当法人の現在の事務所兼倉庫は、事業の拡大に伴い、あまりにも手狭になり、ボランティアにとっても作業がしやすい環境ではなくなっています。

今年度中に、必ず移転を実行し、新しい事務所兼倉庫で、効率的な作業形態、食品の搬送方法を検討し、将来へ向かっての事業改革と新たな展望を作り出す最初の年とします。同時にボランティアが快適に作業に臨み、働き甲斐を十分に感じられる環境を作り出します。

以上、命の糧である食べ物を大切にし、食べられるのに廃棄される食品を引き取り、それらを必要とする人達に届け、「ありがとう」が飛び交うフードバンク関西の活動スタイルを原点に置きつつ、新たな飛躍に向けて準備を整えていきたいと考えます。皆様方のご支援をよろしくお願い致します。